

施策評価表			後期 《平成28年度～令和2年度》	
計 後 画 期 体 基 系 本	政策	2. 未来の担い手と共に育つまち【子ども】	施策統括課	子育て支援課
	施策	7. 子どもの権利を守り、安全で健やかに成長できるまちをつくる	関係課	社会教育課・学校教育課・健康課 まちの魅力推進課・福祉課

1. めざそう値からみた達成度

成果指標	単位	基準値	H30目標値	実績値の年次推移	判定
		目標	H30実績値		
自分がまわりの人から大事にされていると感じる子どもの割合 (子ども意識調査)	%	87.9	92.4 より上		b
		↑	88.4		
子どもに関する地域・サークル活動に参加した大人の割合 (町民意識調査)	%	24.5	27.6 より上		b
		↑	27.4		
子どもに関する地域・サークル活動に参加した子どもの割合 (子ども意識調査)	%	73.7	76.3 より上		b
		↑	73.5		

めざそう値達成度：a …目標を達成している、b …目標をわずかに達成していない c …目標を達成していない

2. 取り組み方針の実施状況と方向性

7-1 子どもが安心して生きる権利を保障します					所管課					
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 (57項目中) 子どもの権利保障 53位/50位					子育て支援課					
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31/R1	R2	
自分がまわりの人から大事にされていると感じる子どもの割合 (児童・生徒アンケート)	%	87.9	↑	目標値	92.4	92.4	92.4	-	-	×
				実績値	89.9	89.3	88.4	-	-	
児童虐待相談件数	件	38	↑	目標値	38	38	47	-	-	○
				実績値	47	39	79	-	-	
中学生の子どもの権利条例の認知度 (中学生への子どもの権利に関するアンケート)	%	35.8	42.0	目標値	42.0	42.0	42.0	-	-	×
				実績値	31.7	29.4	31.3	-	-	
一般住民の子どもの権利条例の認知度 (町民意識調査)	%	17.8	20.0	目標値	17.8	17.8	20.0	-	-	×
				実績値	18.3	16.9	15.8	-	-	
成果指標達成度：○ …目標を達成している × …目標を達成していない					成果指標総合判定					
成果指標総合判定：A …成果指標判定がすべて○、B …半数以上が○、C …半数未満が○					C					

まちが取り組むべきこと①	子どもの権利条例の周知と理解促進に向けた取り組みを充実させます
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町職員等への子どもの権利条例の理解促進のため、新規採用職員、教職員に加えて町内会長会議において研修を実施した。 ・小学生への子どもの権利条例の講座等を開催した。 ・子ども達には、いつも身近に持って使えるように啓発グッズ（定規として使えるしおり）を配布した。 ・子どもたちに権利条例をより深く理解してもらうため、子ども実行委員を募り、文化祭での出展、子どもの権利かるた大会の運営を実施した。
課題	・一般住民の子どもの権利条例の認知度が低い
R2年度取り組み方針	・引き続き、子どもの権利かるた大会や文化祭等を通して、広く子どもの権利条例の周知に努めるとともに、町職員等に理解促進を進める。
まちが取り組むべきこと②	児童虐待と子どもの育ちの問題について意識啓発を行い、虐待の早期発見に向けた主体的な取り組みを進めます
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭において、子ども実行委員が児童虐待防止のシンボルマークであるオレンジリボンを活用したアクセサリー作りのブースをもうけ、意識啓発を行った。 ・虐待等防止ネットワーク会議において、高齢者虐待がテーマの事例であったが、児童の場合ではどういったかわりができるかを関係機関の代表者等と話し、様々な虐待事案でも、早期発見の重要性について周知を図った。 ・各小中学校に出向き、情報共有や関係機関が動くことにより、連携の重要性について周知を図った。 ・育児相談等において様々な悩みの解消を図ることにより、児童虐待の未然防止に努めるとともに、虐待の早期発見・早期対応のため乳幼児健診未受診者の状況把握を行っている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・一般住民に対する児童虐待についての意識啓発。 ・未受診者に受診勧奨を行うため、電話及び訪問等を行うが連絡が取れない場合がある。
R2年度取り組み方針	・引き続き、児童虐待に対する啓発を行うとともに、関係機関との連携による早期発見への体制づくりを行う。
まちが取り組むべきこと③	子どもの相談体制の充実、関係機関と連携しきめ細かな支援の実施により、虐待の被害にあった子どもの保護を推進します
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携しきめ細かな支援へと結びつけるため、児童相談システムを導入した。 ・児童相談所も参加する要対協庁内連絡会議を開催し、関係機関との連携により、要保護児童の対応、支援を行っている。 ・要保護児童対策地域協議会代表者会議（虐待等防止ネットワーク会議）開催により、関係機関との連携の重要性について周知を図った。
課題	・児童虐待など要保護児童が増加傾向であり、職員の対応体制が難しくなっている。
R2年度取り組み方針	・関係機関との連携により、児童虐待等に対するきめ細やかな支援や対応を進める。
取り組み方針の達成状況	
<input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない	
R2年度の取り組み方針の方向性	<input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> その他

7-2 子どもの居場所をつくります						所管課				
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 (57項目中) 子どもの居場所づくり 10位/48位						子育て支援課				
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31/R1	R2	
志免町地域子ども教室の充足率	%	65.1	↑	目標値	65.1	65.1	65.1	-	-	○
				実績値	62.8	56.7	76.9	-	-	
通学合宿年間延べ参加者数	人	99	↑	目標値	109	109	99	-	-	×
				実績値	67	50	48	-	-	
子ども(中学生から18歳)の居場所「リリーフ」の延べ来所人数	人	318	↑	目標値	1,302	1,302	1,191	-	-	×
				実績値	1,191	298	474	-	-	
成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない									成果指標総合判定	
成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○									C	

まちが取り組むべきこと①	公園や公共施設を活用し、子どもの遊び場や居場所の充実をはかります
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが安心して過ごせる居場所「リリーフ」は目標値から大きく下回る利用者となっているが、利用が必要と思われる児童生徒の利用は継続している。 町内の各団体の協力により公園等において外遊びを開催し、子どもが集う遊び場の充実を図った。 小学生の放課後や長期休暇の居場所の課題解決のひとつとして行政提案型協働事業の募集を行い、一団体が応募、R1年度に実施することとなった。 土曜日や、春休み、夏休みの子どもの居場所として、生涯学習館ジュニア講座を開催した 受講希望者が多く抽選が発生することや、土曜授業や学校行事が増え、長期講座の日程調整も難しくなってきたため見直し、長期講座を前期、後期に分けたり、単発講座を増やす等の改善をした。 初めて受講する子が抽選順位の第1位となることから小学1年生の当選確率が必然的に高くなり、低学年ばかりとなることも多いため、各学年で当選割合を設定し、バランスよく構成できるよう工夫した。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習ジュニア講座の受講希望者が多く、抽選により受講できない子どもが多くなっている。 生涯学習ジュニア講座は学校週5日制の完全実施により、子どもの居場所づくりのためH14年度より開始されたが、ここ数年で年4回の土曜授業や、学校行事が行われるようになってきたため、長期講座の日程調整が難しくなってきた。
R2年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの遊び場や居場所の充実を図るため、様々な子どもが利用できるよう利用しやすい環境を整えるとともに、多様な主体による居場所づくりを推進する。 ジュニア講座はR1年度から取り組んでいる「長期講座を前期、後期に分ける」、「単発講座を増やす」などの工夫の結果を検証し、なるべく多くの子どもたちが受講できるよう更に研究していく。
まちが取り組むべきこと②	学校施設については、青少年のスポーツ団体等との連携をはかり、子どもたちがスポーツ活動に参加する機会を確保します
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> 平日の放課後、学校施設の運動場や体育館などをジュニア団体に貸出している。 青少年が所属する文化・スポーツ団体に補助金を交付することでその活動を支援し、子どもたちのスポーツ・文化活動の機会の確保に努めている。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 活動団体が多く、利用に制限がある。
R2年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちのスポーツ・文化活動に参加する機会を充実させるため、関係団体を支援するとともに、活動できる場所の確保に努める。

まちが取り組むべきこと③	地域子ども教室（チャレンジひろば）を充実させるとともに、通学合宿や子ども会育成会を通じた活動への支援を充実させます
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの地域子ども教室を実施する実行委員会に対して、運営費の一部を助成している。また、希望者が多く利用できない児童が増加しているため、その定員拡充について予算措置を行った。 ・通学合宿を行う団体に対して、費用の一部を助成している。 ・子ども会育成会については運営費の補助を行うとともに、子ども育成会連絡協議会の主催事業に関する連絡調整など行い、活動を支援している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子ども教室は希望者が多く利用できない児童が増加しているため、定員の拡充のための予算措置は行ったが、使用施設（学校）やスタッフの確保に課題があり、H30年度は大幅な定員増ができない状況となった。 ・通学合宿は、各小学校区で取り組み状況が異なっている。子ども会育成会については、近年、子どもたちが地域の活動に参加する時間の余裕がなくなっている。
R2年度取り組み方針	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子ども教室については、その活動を拡充できるよう、関係機関との更なる連携を図る。 ・子ども会育成会など地域で行われる活動を支援し、子どもたちの地域での居場所づくりを促進する。
取り組み方針の達成状況	
<input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない	
R2年度の取り組み方針の方向性	<input type="checkbox"/> 重点 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> その他

7-3 子どもの健全育成を推進します					所管課					
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位 (57項目中) 地域活動などによる子どもの健全育成 45位/35位					社会教育課					
成果指標	単位	基準値	目標	区分	実績値の年次推移					判定
					H28	H29	H30	H31/R1	R2	
子どもに関する地域・サークル活動に 参加した大人の割合 (町民意識調査)	%	24.5	↑	目標値	27.6	27.6	27.6	-	-	×
				実績値	26.6	21.9	27.4	-	-	
子どもに関する地域・サークル活動に 参加した子どもの割合 (児童・生徒アンケート)	%	73.7	↑	目標値	76.3	76.3	76.3	-	-	×
				実績値	69.1	74.7	73.5	-	-	
青少年育成団体活動支援団体数	団体	35	→	目標値	35	35	35	-	-	×
				実績値	26	27	28	-	-	
成果指標達成度：○…目標を達成している ×…目標を達成していない 成果指標総合判定：A…成果指標判定がすべて○、B…半数以上が○、C…半数未満が○									成果指標総合判定	
									C	

まちが取り組むべきこと①	子どもの生きる力を育むために、体験活動や地域での活動等を支援します
主な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年が所属する文化・スポーツ団体に対し補助金を交付し、その活動を支援した。 ・関係者に対し、青少年問題協議会等を通して、青少年の健全育成に関する学習の機会を提供した。 ・アビスパ福岡の協力のもと、体を使った運動の講習会を開催し、子どもの運動能力向上に取り組んだ。 ・図書館では、子ども講座や子ども図書館まつりを開催し、工作等の体験活動を行うとともに、読み聞かせ会やブックスタート事業により読書や読み聞かせに関心をもってもらうよう取り組んだ。 ・シームイトでは子どもの日の恒例行事として、高齢者・子どもの保護者・子どもの三世代と一緒に昔の遊びや工作等を通して触れ合う場を提供した。
課題	取り組みによって参加率にバラつきがあるため、講座内容・対象者の見直しが必要
R2年度取り組み方針	子どもの生きる力を育むため、様々な子どもたちが参加できるよう、体験活動等を実施するとともに、多様な主体の地域活動を支援する。
まちが取り組むべきこと②	子ども会育成会連絡協議会を通じた活動を支援し、子どもに関する地域活動、サークル活動のリーダー育成などにより子どもの地域活動の充実をはかります
主な取り組み状況	・子ども会育成会についてはその運営費の補助を行うとともに、子ども会育成会連絡協議会の主催事業に関する連絡調整などを行い、その活動を支援している。
課題	・子ども会育成会については、近年、習い事などで子どもたちが地域の活動に参加する時間の余裕がなくなってきた。
R2年度取り組み方針	・引き続き、子ども会育成会連絡協議会を通じた活動を支援し、子どもに関する地域活動、サークル活動のリーダー育成などにより子どもの地域活動の充実を図る。
取り組み方針の達成状況	
<input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施し、ほぼ目標どりの成果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施したが、成果があがっていない <input type="checkbox"/> 方針に沿った取り組みを実施できず、成果があがっていない	
R2年度の取り組み方針の方向性	<input type="checkbox"/> 重点 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> その他

3. 施策の総括と今後の展開

めざそう値「自分がまわりの人から大事にされていると感じる子どもの割合」は、H30年度目標値92.4%より上に対し、実績値88.4%と目標を達成できなかった。小中学生に対し子ども権利条例に関する講座や子どもの権利かるた大会を開催することで、関心も深まっているのではないかと推測する。今後とも子ども権利条例の啓発や相談体制の充実、虐待等の対応のための関係機関の連携強化など体系的に施策を展開する必要がある。

めざそう値「子どもに関する地域・サークル活動に参加した大人の割合」は、H30目標値27.6%より上に対し、H30実績値27.4%、めざそう値「子どもに関する地域・サークル活動に参加した子どもの割合」は、H30目標値76.3%より上に対し、H30実績値73.5%と目標を達成できなかった。目標に届かない直接的な原因の究明はできていないが、P T Aを含む青少年問題協議会委員などの情報から、近年、習い事などで子どもたちが地域の活動に参加する時間の余裕がなくなってきていると考えられる。今後は、子ども会育成会連絡協議会を支援する事業を継続して行い、活動を続けている地域と共に健全育成に取り組んでいく。

また、子どもの居場所づくりについては、安心して過ごせる居場所「リリーフ」、生涯学習ジュニア講座、地域こども教室など取り組みは進めているものの、受講や参加できない事象が発生するなど、ニーズの多様化・高度化に対応できていない状況を踏まえ、事業の拡大の検討や多様な主体による居場所づくりを推進する必要がある。

4. 施策の進行状況

- 目標に向かって順調に進んでいる
- 目標に向かってある程度順調に進んでいる
- 目標に向かってあまり進んでいない
- 目標に向かって進んでいない